

和歌山病院での実習を終えて



今枝 秀斗

今回、和歌山病院で実習させていただいてこの二日間はとても有意義な時間でした。まず、見させていただいたのは結核の隔離病棟でした。結核は空気感染のする病気であるためどのような管理をしているかは疑問ではありましたがこの和歌山病院では二重扉や陰圧や陽圧にしている設備があることを知り、正しい管理がやはり必要だと思ったのと同時に結核に対する正しい知識を持つ必要があると思いました。

また、この実習でいろいろ頭を使ったのがまた印象的でした。今まで知識を詰め込んでばかりで頭を使っていないのだと痛感するとともに、将来頭をしっかりと使える医師になるためこれからたくさんいろいろなことを考え、頭を使っていく必要があると思いました。そして南方院長とお話させていただいてとても印象に残ったことがありました。それは地元について歴史的なことを含めてどのような場所かを説明できることでした。正直私は自分の地元がどのような場所を説明しろと言われたら、どれだけ深く語れるのだろうかと考えたときあまり地元について知らないのだと思いました。これから、自分が地元をもっと好きになり、他の人に知ってもらうためにそれはことだと思いました。

この二日間の実習は病気だけでなくそれ以外のもっと大切なことを教えていただいたような気がします。これを忘れずにこれからの残りの学生生活、そしてそれから先に続く医者としての道に生かしていきたいと思います。最後になりましたが南方院長をはじめ、講義して下さった先生方、関係した職員の方々、とても有意義な実習となりました。本当にありがとうございました。